

## 茂松茂人先生が 大阪府医師会会長から日本医師会副会長へ

大阪医科薬科大学医師会 会長

森脇 真一

令和4年6月25日に開催された第151回日本医師会定例代議員会において、茂松茂人先生が日本医師会副会長に就任されました。平成28年6月から6年間大阪府医師会会長として大阪府医師会を引っ張っていただき、本学でも第3学年を対象に毎年「日本の医療体制と医師の業務」について特別講演をいただきました。日本医師会副会長に就任され、「地域の声を集め、日本医師会の会務に反映していきたい」（府医ニュース2023年1月4日新年のごあいさつより抜粋）と述べられています。当医師会にとっても、大阪府医師会にとっても、日本医師会とのパイプ役として茂松副会長の存在は非常に大きいです。



関連するホームページ

■日医ニュース 2022年7月5日号：

医師の期待に応えて国民の信頼を得る日本医師会へ

<https://www.med.or.jp/nichiionline/article/010738.html>

■府医ニュース 2023年1月4日号：

新年のごあいさつ 日本医師会 副会長／大阪府医師会 理事 茂松茂人先生

<https://www.osaka.med.or.jp/doctor/doctor-news-detail?no=20230104-3023-6&dir=2022>

## 大阪府医師会勤務医部会 在阪5大学医師会役員と2行政医師会役員との懇談会2022

大阪医科薬科大学医師会 会長

森脇 真一

本懇談会はこれまで、医師の働き方改革、女性医師支援、地域医療など様々なテーマで毎年11月最終木曜日夕刻に大阪市内のホテルにて開催されてきました。COVID-19アウトブレイク後の令和2年度は開催中止、昨年度の令和3年度は大阪府医師会館+WEBによるハイブリッド開催、そして今回も令和4年11月24日(木)、昨年同様のハイブリッド形式にて開催されました。

今回は「新専門医制度～若手医師にとって魅力のある制度を目指して～」というテーマでまず日本専門医機構副理事長の角田徹先生(日本医師会副会長)による基調講演があり、その後例年通り各医師会(大阪大学、大阪公立大学、大阪医科薬科大学、関西医科大学、近畿大学、大阪市役所、大阪府庁)からのプレゼンテーションがありました。

出席者はほぼ例年並みの57名、当医師会からは森脇(発表者)、中野副会長、瀧谷理事、浮村理事がWEBにて参加いたしました。

今回の懇談会から、現行の新専門医制度に対する各医師会の共通認識として、シーリングによる大阪府外(遠方)での専門研修ノルマによる希望科の変更、専攻医募集開始時期の遅れ(2023年度募集では2022年12月1日)、シーリング数の決定方法、子育て支援枠の見送り、臨床研究医制度の不人気など行政の見込みの甘さ、内科研修中のJ-OSLER登録の煩雑性による内科希望者の減少など、多くの問題点が浮き彫りになりました。その中で今の新専門医制度の問題点について、角田副理事長のご理解が得られたことも大きな収穫です。大阪府医師会の一員として、日本専門医機構による今後の幅広い議論と制度の改善に期待します。



## 令和5年度学会等助成 採択学会一覧

大阪医科薬科大学医師会 会長

森脇 真一

4件のご応募いただきありがとうございました。

次の4件に各10万円、合計40万円を助成することといたしました。

会長／会頭(敬称略)	学会名・開催日程・開催場所	助成金額
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 専門教授 萩森 伸一	<b>第46回日本顔面神経学会</b> 日程：令和5年6月2日(金)～6月3日(土) 場所：千里ライフサイエンスセンター	10万円
小児科学 教授 芦田 明	<b>第58回日本小児腎臓病学会学術集会</b> 日程：令和5年6月29日(木)～7月1日(土) 場所：高槻城公園芸術文化劇場	10万円
看護学部 教授 安田 稔人	<b>第48回日本足の外科学会学術集会</b> 日程：令和5年10月26日(木)～10月27日(金) 場所：グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター	10万円
皮膚科学 教授 森脇 真一	<b>第74回日本皮膚科学会中部支部学術大会</b> 日程：令和5年10月28日(土)～10月29日(日) 場所：国立京都国際会館	10万円

令和6年度の公募は、令和5年10月2日(月)～令和5年10月31日(火)に実施します。

詳細は、10月初旬にホームページに掲載いたします。